



ねずみ うり
神社の鼠が瓜食ってチュウ!?
1月 堀金田多井・賀茂神社

堀金田多井の賀茂神社に、瓜をエサにして200年以上住み続ける鼠が……。

賀茂神社本殿、左妻にある「瓜に鼠」の彫物はその正体。瓜の滑らかな曲線と、その上にちょこんと乗って瓜をかじる鼠の描写が見事です。この本殿は、そのほか「波に菊の葉」や唐獅子などの彫刻が施されていて、市の有形文化財にも指定されています。この本殿は普段公開されておらず、次に見られるのは例祭が行われる4月26・27日の2日間。ねずみ年の今年、とくに年女年男の皆さんは、一度賀茂神社を訪れてみてはいかがでしょうか。



税の役割 正しく理解

12/20 豊科南小 租税教室

松本税務署や安曇野市などで構成する租税教育推進協議会は12月20日、豊科南小学校で租税教室を開きました。この日は6年生約110人が受講。税務署と市民税課の職員が講師となり、税の使い道の決め方や、税金がない生活がどうなるかなど、具体的に説明しました。6年3組の平林洸太さんは、「クイズが面白かった。知らないことが多かった」と話してくれました。この教室は、市内の他校でも行われており、本年度は12月末現在、18校で30回開かれています。

二十歳の誓い

1/14 安曇野市成人式

平成20年安曇野市成人式が「成人の日」の1月14日、安曇野スイス村サンモリッツで開かれ、新成人たちは、大きな節目に誓いを新たにしました。

市では1,130人が新成人になり、768人が式に出席しました。式では、平林市長が「安曇野を愛し、誇りに思っほしい。安曇野は絶えず皆さんを見つめてくれると思います」とあいさつ。新成人代表の二木智也さんは「大人の一員となり、自由を手に入れた。自分の行動に対する責任を強く自覚したい」と誓いの言葉を述べました。

式典後は、新成人による実行委員会が企画した交流会が催されました。新成人はコッペパンやわかめごはんなどの給食のメニューを食べながら、中学時代の写真上映会などに顔をほころばせ、当時を懐かしんでいました。



市民の信頼と期待を胸に

1/13 安曇野市消防団出初め式

平成20年安曇野市消防団出初め式が1月13日、穂高会館で開かれました。

この日は、消防団員と関係者など約1,000人が出席し、式典と分列行進を行いました。林安男団長は「市民の信頼と期待に応え、消防団活動に精進していく」と決意を語り、平林市長は、「自助・共助・公助のもと、安心・安全なまちづくりを進めていきたい」とあいさつしました。式典では、このほか優秀な消防団員や退団者の表彰なども行われました。

式典後の分列行進では、消防喇叭隊の先導で、約900人の団員がきびきびとした行進を披露しました。

平成19年度
安曇野市功労表彰式



市の礎となる功績をたたえ

12/5 市功労表彰式

安曇野市として初めての市功労表彰式が12月5日、堀金総合支所で行われました。地域の発展や保健衛生、交通安全などに今まで功績のあった17人と1団体に、市長から表彰状と記念品が贈られました。受賞されたのは次の皆さんです。

萩原昭平、須澤彰彦、中村直亮、藤森英雄、小林寛二、矢島邦雄、若宮昭三、白井哲夫、福嶋律恵子、神谷 明、白井 淳、高山福太郎、望月将兵、丸山忠秋、布山徳一、白井千秋、内藤芳郎、市消防団第6分団第1部

ピックアップ **100年続く伝統と誇り**



今年で100年目となる伝統の火災予防活動「100日夜警」の功績から市功労表彰を受けた市消防団第6分団第1部は、昨年の12月22日から夜警を開始。4人1組で詰所に泊まり、午後9時30分と午前0時に、鐘を持って管轄の明科区内を約1時間かけて巡回しています。25日は、今年入団した丸山拓也さんが初めて夜警に参加しました。丸山さんは、「曾祖父、祖父、父とこの夜警に参加してきました。今日は、父から気合を入れて回って来いと言われました。頑張りたい」と話し、巡回に向いました。100日夜警は、明治40年に区内で起きた大火を機に始まりました。100年目の今年も地域の安心と安全のために4月1日まで夜警は続きます。